

健康長寿に係るイチオシ事業
毛呂山町
 ～毛呂山町健康マイレージ事業～

(1) 事業の概要

町民の健康づくり支援事業。対象事業参加時に「健康マイレージポイント」を付与し、取得ポイント数に応じて特典を贈呈することにより、町民の健康づくり事業参加促進・健康管理意識の向上を図る。

(2) 事業の契機

疾病予防には、町民自身の健康管理意識を高めることが必要不可欠である。町民が楽しみながら健康管理ができるよう支援するための事業として、本事業を開始した。

(3) 事業の内容

事業名	毛呂山町健康マイレージ事業
事業開始	平成28年6月1日
スタッフ	町職員（関係部門：保健衛生・国民健康保険・高齢者支援・生涯学習・スポーツ振興・公民館）
予算（令和元年度）	●消耗品費127,000円 内訳：特典（町商工会商品券）費用
内容	●各種健診・講座・スポーツイベント等の対象事業参加者に「健康マイレージポイント」を付与する。ポイント数が20に達した参加者に、特典として町商工会商品券500円分を贈呈する（20ポイントにつき500円）。 町主催事業の他、埼玉県コバトン健康マイレージ事業も対象事業としている。歩数5万歩毎に1ポイントを付与している。本事業は経年事業とし、ポイントは次年度に繰越可能。 ●ポイント付与方法：参加者1人につき1枚のポイントカードを配布し、そのカードに事業種類毎のゴム印を押す。 詳細は、別紙①チラシ「令和元年度毛呂山町健康マイレージ事業」を参照。
参加者数	令和元年11月30日現在参加者数：2,358人

様式1

これまでの実施内容

時期	内 容
平成27年度中	事業概要について検討 対象事業について関係部門との打ち合わせ 予算準備
平成28年4月～	関係部門との最終調整 事業の要領作成 事業についてのマニュアル作成 各種申込用紙等の様式作成 参加者台帳の準備（エクセル形式） ポイントカード・ゴム印等の必要物品作成 周知準備（ポスター・チラシ（広報誌への折込）・ホームページ等の準備） 特典の商品券購入方法について町商工会との打ち合わせ
平成28年6月～	事業開始 健診会場に特設コーナーを設け、事業周知・申込み勧奨 随時、関係部門と連絡調整
平成28年10月～	次年度事業について検討（課題を洗い出し、改善方法を検討） 平成28年度分の特典贈呈準備（周知準備・特典贈呈用封筒作成）
平成29年1月中	20ポイント達成者の特典引換申込み受付
平成29年2～3月中	特典引換申込者への特典贈呈
平成29年度	ポイント付与数の見直しを図り、ポイントが溜めやすいように工夫をした。
平成30年度	個別健診受診者に健診済み証を健診結果と一緒に同封し 後押しできるようにした。また偶数月に役場で全てのポイントの後押しが出来る日を設けた。
令和元年度	特定贈呈を2回（9月と1月）に実施する。 令和元年度事業開始

(4) 事業の効果

●評価方法

- ①事業参加者数・特典贈呈者数
- ②参加者のうち特典贈呈対象者に、特典贈呈時にアンケート調査を行う。調査結果をもとに、参加者のニーズや健康管理意識の変容状況について把握し、次年度以降の事業改善に活かす。

様式1

●評価

【評価方法①について】

平成30年度参加者数は2180人、うち特典贈呈者数は101人であった。チラシを広報誌へ折り込むことにより全戸配布したことや、申込勧奨に力を入れたことで、参加者数を増やすことができた。また平成29年度より各対象事業参加による付与ポイント数を増やしたことや、事業を立ち上げてから3年が経過した結果、特典贈呈者数は増加したと考えられる。

【評価方法②について】

平成30年度特典贈呈者101人のうち、92人からアンケート用紙を回収。参加のきっかけは、広報誌に折り込んだチラシを見たことや職員による健診会場での申込勧奨と回答した者の割合が多かった。参加した対象事業については、特定健診がん検診・健康教室・ゆずっこ体操・ウォーキングイベントの割合が多い結果となった。このことから、本事業が各種健診の受診動機につながったと考えられる。

参加者の健康管理意識の変容状況については、本事業に参加したことで、「健康管理を意識するようになった」「運動を継続するようになった」「食事について注意するようになった」と回答した者の割合が6割を超えていた。このことから、本事業は町民の健康管理意識を高める事業として有効であると考えられる。

改善点としては、現在特典を受け取るには2回保健センターに来所して貰う必要があり少し手間がかかることである。アンケートにも「特典を受け取る手続きが難解」、「引き換え時期が年1回だと忘れてしまう」等の意見があった。それを踏まえて、令和元年度から特典引き換え時期を10月と1月の2回実施している。今後も利用者が利用しやすいように関係機関と協議を行い改善できるようにしていく。

(5) 成功の要因、創意工夫した点

- 経年事業とし、付与ポイントを次年度に繰越可能としたこと。
- チラシを広報誌へ折り込むことにより全戸配布したこと。
- 各種健診会場に特設コーナーを設け、申込勧奨に力を入れたこと。
- 偶数月に本庁舎でポイントの後押しを実施したこと。

(6) 課題、今後の取組

特典贈呈期間を2回に増加したが、まだ利用者には利用しづらい状況である。そのため、今後関係機関と調整を行いより利用者が利用しやすい方法を検討していく。

ポイント付与する事業の見直しや新規事業の開拓を行い、更に申込者を増加できるように工夫をしていく。